

# 陽和中学校区だより

陽和中学校区人権教育推進協議会は

- 1、陽和地区の子どもたちの人権教育を推進すること。
- 2、地域に住むすべての人々の人権感覚を高めること。
- 3、人権感覚あふれる地域づくりをめざすこと。

を目的として、各校や各小学校区の地区人権啓発推進会と連携・協力しています。

<陽和中学校区人権教育目標>

「他者との協同を大切に、たくましく人間性豊かに生きる児童の育成」  
各校では、まず教育活動を計画し、研修等を通して意識を高め、日々の取り組みに生かしていきます。  
そして各学校間で連携し、さらに保護者・地域とも連携を図ります。地域での啓発にも取り組んでいきます。人権感覚にあふれた学校・地域づくりを一緒にめざしましょう。

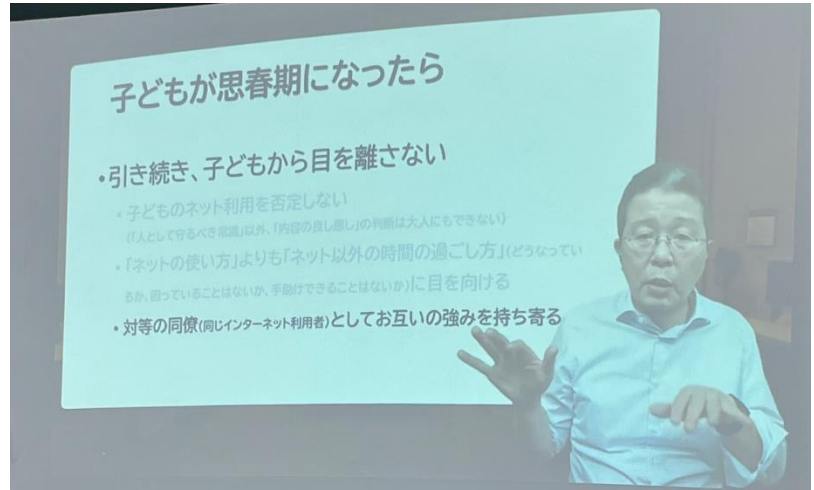
<年間事業予定>

- ①8月22日(木) 人権地域づくり講演会  
演題「子どもたちのネット利用について、大人にできること」  
講師:株式会社ミヤノモリ・ラボラトリー 高橋大洋氏
- ②10月23日(水) 「人権コンサート～そっとやさしく～」  
講師:長島 りょうがんさん  
場所:日進小学校  
対象:小学6年生 中学1年生 保護者 地域の方
- ③11月27日(水) 「部落問題の解決に向けた中学校ブロックの集い」  
場所・内容:陽和中学校区の各校での授業・研修
- ④2月 人権教育推進協議会(実施予定)  
場所:日進小学校  
内容:陽和中学校区各校の人権教育の取り組みを交流

## 人権教育地域づくり講演会が行われました

陽和中学校区人権教育地域づくり推進事業として、『子どもたちのネット利用について、大人にできること』と題した講演会が開催されました。講師に株式会社ミヤノモリ・ラボラトリー 高橋大洋さんによる講演会を 8 月22日(木)にオンライン形式で行いました。講演会では、ゲームや SNS、オンライン上でのコミュニケーションなど、子どもたちを対象とした事前アンケートから見えてくる状況をもとに、家庭や地域、学校それぞれの大人ができることなどをわかりやすくお話していただきました。

## 参加者の感想



ネットに関して規制をしようとしがちであるが、子どもに寄り添ってという視点は、教員としても保護者としてもとても腑に落ちました。保護者の相談を受けた時にも、活かせるお話でした。

子どもにネットを利用させるにあたって、子どもの利用状況を知ろうとすることが重要だと再認識しました。状況を知るために、ネット利用を否定しない、話を聞こうとする姿勢等、話ができる環境作りに注力していきたいです。

子どものネット利用については、本当に多岐にわたり、制限するだけでなく常に見守り、リードすることが大事である。これからの情報社会で生きていく子供達にとって、制止だけでなく、活用させて、大人がフォローすることがとても重要であると勉強させていただきました。また、情報社会に生きる子供たちの視力や睡眠の状態など大変心配な面も改めてわかり、健康状態にも今後考えながら保健指導の必要性を感じました。

小さいころからスマホやタブレットに触れている現代の子どもには「ネットを正しく使うスキル」を身につけさせることは必要不可欠である。そのためには大人が頭ごなしに SNS やゲーム等を否定せずにはまずはよく学び、子どもには適切にルールを設定して、守らせていけるように見守り続けることが大事だと思いました。

学校においても、先生同士が連携しそれぞれの教員の強みを活かした取り組みをしていくことが必要と感じた。

経年変化のデータはとても貴重でした。この2年間で SNS 利用が大幅に広がっていることに驚きました。「みんな使っている」を前提に、子どもたちのくらしをみていかねばと感じました。私たち大人は、リードする側・フォローする側ということを入れて、子どもたちがネット社会で幸せにくらしていけるようにできることを考えていきたいです。